

令和元年度 東毛地区人権教育指導者研修会 I

期日：令和元年8月7日(水) 場所：邑楽町中央公民館 邑の森ホール

主催：群馬県教育委員会

共催：東毛地区人権教育推進連絡協議会 邑楽町教育委員会

令和元年度東毛地区人権教育指導者研修会 I が、8月7日(水)に邑楽町中央公民館『邑の森ホール』で、東毛地区の人権教育推進委員、学校関係者、社会教育関係者、福祉部局関係者、行政職員を対象に実施されました。当日は181名の方に御参加いただきました。大変ありがとうございました。

人権講演会・演奏会



講演会では、テーマ「障がいのある人たちの人権」について、伊勢崎市にある社会福祉法人キャッチジャパン指定障害福祉サービス事業所『ぶどうの木』施設長森村静枝さんと大地さんをお迎えしました。演題「地域の力が支えとなって」と題し、御講演をいただきました。また、幼いころ脳性麻痺となり、障がいをかかえている大地さんにサックス演奏を披露していただきました。ピアニスト頌彦(うたさと)さんとの素晴らしいハーモニーは、参加者に感動を与えてくれました。講演では、母親静枝さんから障がいをかかえることになった大地さんとの生活について、障がいのある人たちにとって地域の支えが大切であること、地域・社会と繋がることの重要性などをお話しいただきました。

共に支え合って生きる社会の実現に向けて、実り多き研修会となりました。

実践発表

館林市人権教育推進会議委員 松下紀雄氏と館林市教育委員会事務局生涯学習係主任 阿部正慶氏に、「館林市の人権教育について」と題し、発表していただきました。13回実施された講座の様子を写真を交えながら御説明いただきました。

関係部署との連携や、多くの人脈を構築することができたなどの成果発表がありました。

参加者の声

サックス、ピアノ演奏素晴らしかったです。大地さんの演奏に元気をもらいました。ご両親の大きな愛情を感じました。その子育ては、計り知れない努力があったと思います。が、大ちゃんの成長が、周りの人の成長に繋がっていると思うと、大ちゃんの存在の大きさを感じました。ご両親は素晴らしい。